

華

クレッシェンド



占いは究極のコンサルタント

占いの玉手箱社長 竹村 亜希子さん

※三年前は、前に占師として開業占いの師に、まず街頭に出て、そのイメージが強いが、この人はちょっと違う。開業してまず始めたのは企業めぐり※
△占師が企業に行くと

うしたんす
「これからはイベントの時代が来るよえ、企業の販促に進部を助けてイベントの中に占いを取り入れをう奨励したい。今でこそ占いはブームで、企業のイベントに取上げられる」とおっしゃる。なんと「非科学的なもの

なせうが、こいつはくわいれました。しかもよく考えれば、占もソフトサービスの一たつです。みんなの思ふんは、
※占いでシチュエーションかもイベント企画から原稿執筆、講演までこなす。こ

を履す。常設の占いのコーナーを園で初めて名古屋屋敷に設けるなど、近代的な占いの先駆者。
△占いの手な使ひ方のアドバイザーを
占いが足かせになってしまつた。占いに振り回されてはダメですね。占いは信じる

ものでなく使ひもの。だから、それをどう使するかが大事。占いが出たらチャンスと考えたい。悪くない占いで上へく注意すればいい。占いで悪く結果が出た時

「信じる」より「活用」を

「一運がいい、悪いは本人の考えかた次第」とおっしゃる。占いは、その時は運が悪いと思つても、いつかの苦勞が役に立つかもしれない。後で役に立てば、運が悪かつたとは言えないでしょ。だ

洋子の目
占いは自分を知る手段のひとつと、占いに對して過度の思い入れがない珍しい占いの師。ハキハキとしたしゃべり方、素早い行動力、明るい性格……、なにに占ってもらったら、どんな運命も乗り越えられそう。

「たいてい、なにか自分でもりたどらなかつたか」と占師が、占いで見つけた悪い結果を「悪い」と言われたら、どうするかが問題なの。悪い結果になからず自分のやりたいことをめたく、失敗もしないで済む。占いは究極のコンサルタントです。」

「二橋洋子記者」
データを集め、状況に照らして合わせて分析し、これから起ることを予測する。占師はインテリゲンチーなコンサルタントとは違つて、未来を予測する感はない。占いは究極のコンサルタントです。」



プロフィール
たけむら・あきこ 愛知淑徳高校卒。〇〇生活を経験し、その後、占いの師として独立。占いの玉手箱を会社組織にし、社長に。趣味は乗馬、スキー、読書。

運が悪いのは簡単に言えない。まだ何も占ってない人が占いの師に「驚くほど、占いの師特有のおそろいさがある。自称、明るく占いの師。声を聞いただけで元気がよくなる占いの師を目指して。そして、占いの玉手箱をはるかに占いの師の真実※
△事業家からの依頼が多い。占いが占いの要になるといふのも変な気がしますが、
い、わかっているですよ。コンサルタントに診断させるのと同じ。コンサルタントは